

海域の概要

本湾は、松島丘陵が沈降してできた溺れ谷で、日本三景の一つとなっています。湾内には多数の島々が点在しており、カキの養殖などが行われています。



Specification

諸元

湾口幅：1.7 km

面積：35.3 km²

湾内最大水深：4 m

湾口最大水深：4 m

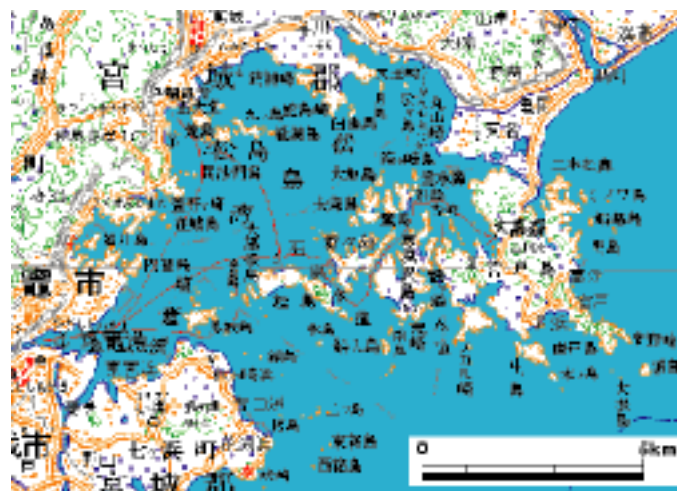
閉鎖度指標：3.49

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

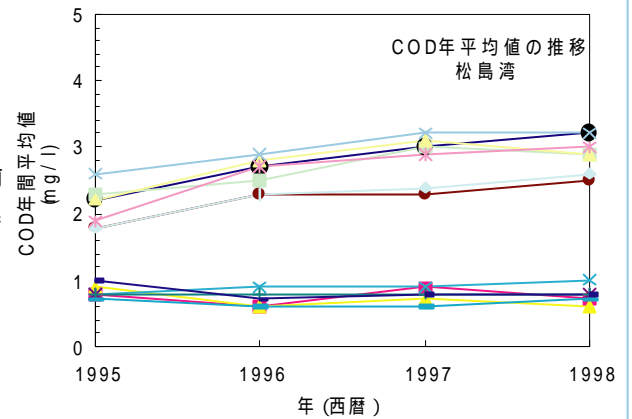
宮城県桃生郡鳴瀬町松ヶ島橋、同町宮戸字田ノ尻 40 番地の 1 南端と同町唐戸島北西端を結ぶ線、同島南東端と宮城郡七ヶ浜町花淵埼を結ぶ線及び陸岸により囲まれた海域。



環境

松島湾の湾口には、桂島、野々島などの島で閉鎖されており、湾内は浅く、水上岩や険礁が多くあります。

COD年平均値の推移をみると、概ね 1 mg/l 前後で推移する良好な海域と、 2 mg/l 以上の値であり、かつCOD年平均値が高くなる傾向にある海域に分けられます。

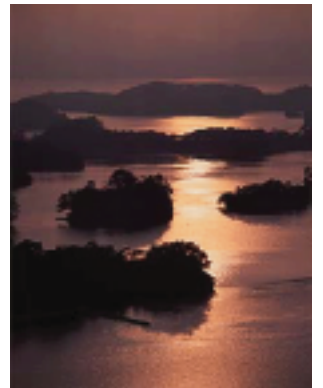


自然

松島湾には、大小260余島の島々が浮かび、長い年月の波浪浸食、風化作用によって四季を通じてそれぞれ異なった景観を呈する自然美と、数多くの歴史的、学術的にも価値の高い文化遺産が残されており、国の特別名勝に指定されています。

湾内は、水深10m以浅と全体に浅く、湾奥にはアマモ場が広がっており、湾口部の宮戸島周辺には、ワカメ、ホンダワラ類を中心とする藻場が分布しています。

松島周辺では、葉の形がササに似ていることから、古来「イワタケ」の愛称で親しまれている「石斛」が分布します。花の開花時期は5月下旬から6月初旬であり、ピンクの花を咲かせます。しかし、石斛は現在絶滅の危機にさらされていますが、瑞巖寺の老杉の枝に着生している石斛の原株の種を保存する目的から採取し、バイオテクノロジーによる栽培が行われています。



松島湾の島々

文化歴史

奥州の雄、伊達政宗の歴史的背景のもとになる瑞巖寺をはじめ山内寺院等の史跡が多く、俳聖松尾芭蕉も絶賛した日本三景の地として有名です。

産業

松島湾では、カキ、ハモ、ハゼ、アサリ等が採取され、土産用の水産加工品として販売されています。特に、海のミルクといわれる「松島カキ」は有名で、磯の香りとほのかな甘味で海の便りを確かに伝えてくれます。松島のカキは、広島カキと並び称されますが、広島産より小粒で身がしまっているのが特徴です。

万葉の昔より風光明媚で知られ、日本三景松島町は、宮城県の海岸部中央に位置し、昭和62年に国際観光モデル地区の指定も受け、国内外の観光客に対応できる東北最大、日本を代表する国際リゾート地です。

松島湾は島巡り観光船が周遊し、ヨットや釣りなどのレジャーも楽しめます。また、瑞巖寺をはじめ山内寺院、歴史資料館、博物館、美術館等の観光拠点にはことかない観光地となっています。



松島カキ